

12月4日（水） 朝礼のお話

12月8日と言う日

次の日曜日、12月8日はどんな日か知っている人はいますか？6年生の中には気づいている人もいるかもしれませんが、この12月8日は私たち日本人には忘れることができない、忘れてはいけない大切な日なんです。今日はそのお話をします。

今から83年前、1941年のことです。皆さんのおじいさん、おばあさんたちより、もう少し年上の人たちが生まれた頃のお話です。元号で言うと平成の前の時代、昭和の16年12月8日のことです。その日は月曜日だったそうです。朝、みんなが出かけるしたくをしたり、朝ご飯を食べている時にラジオから朝の臨時ニュースが流れました。どんなニュースだったかと言うと、「日本がアメリカやイギリスなどの国を相手に戦争を始めた。」と言うニュースでした。その何年か前から日本はお隣の中国と戦争を続けていたのですが、それに加えて今度はアメリカやイギリスなどの国をも相手により大きな戦争を始めてしまったわけです。後に太平洋戦争と呼ばれる大きな戦争の始まりでした。ニュースを聞いた人の多くが日本がこれからどうなっていくだろうと不安になりました。

戦争の詳しい様子についてはここではお話できませんが、戦争が始まって3年と8ヶ月後の1945年、8月15日に日本はこの戦争に負けて太平洋戦争は終わりました。この戦争で日本では310万人もの人が亡くなり、日本中の町は空襲で焼け野原になりました。そして、広島と長崎には原子爆弾が落とされて一瞬にして何万人もの人が亡くなりました。日本全体がとてつもなく大きな被害を受けてしまい、未だにこの戦争の苦しみを抱えた人たちがたくさんいます。日本という国ができてから一番大きな被害を受けたのがこの戦争です。その戦争が始まった日が12月8日なのです。戦争の終わった日、8月15日は多くの人がその日を覚えていて毎年国の行事も行われます。でもその戦争を始めてしまった日、12月8日を覚えているひとはあまり多くありません。でもこの日も日本人として忘れてはいけない日だと校長先生は思います。

そして、とても幸せなことに、この戦争を最後に私たちの国、日本は今日まで79年間もの間、一度も外国と戦争をしていません。戦争で亡くなった人も一人もいません。世界には200近い国があるのですが、この70年以上一度も戦争をしたことのない国はわずかに8カ国しかないそうです。これはとても素晴らしいことですし、世界に自慢したいことですし、これからもずっとずっと続けていきたいことです。

今日は日本が最後の戦争を始めた日、12月8日についてお話をしました。皆さんも日本人の一人としてこの12月8日がどんな日か覚えておいてください。2学期も今日をいれて残り16日しかありません。一日一日を大切に過ごしてください。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとう。お話を終わります。